

経営比較分析表（令和5年度決算）

埼玉県 滑川町

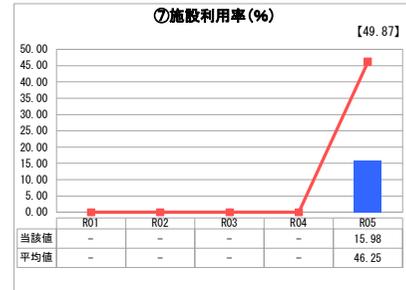
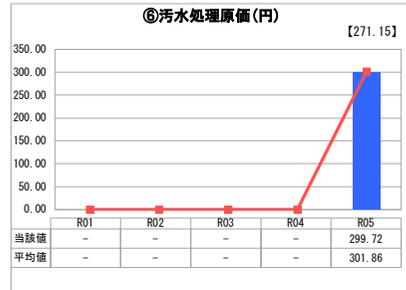
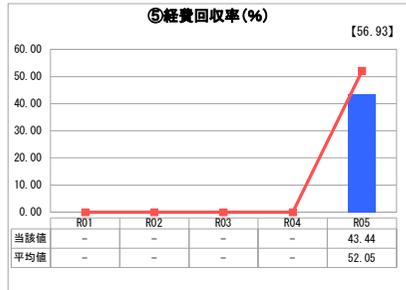
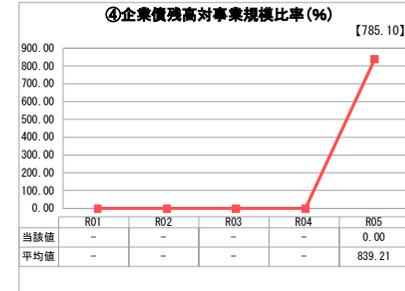
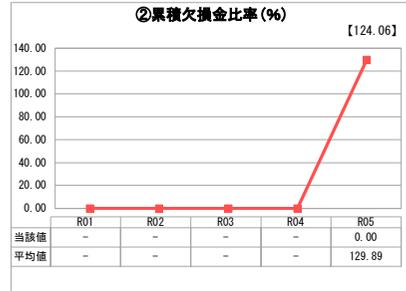
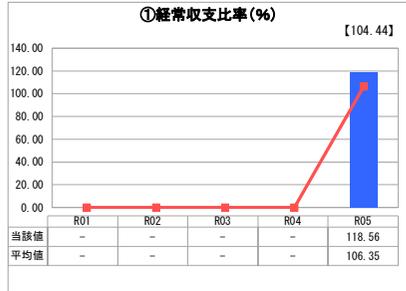
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家産料金 (円)
-	74.55	6.92	80.45	2,530

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
19,745	29.68	665.26
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
1,360	0.64	2,125.00

グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率
類似団体平均よりも上回っていますが、一般会計繰入金に頼った経営となっています。経費削減など経営改善に向けての取り組みが必要です。

② 流動比率
流動比率は100%を超えています。企業債の償還は今後も続くため、現金の確保に向けた取り組みが必要です。

③ 経費回収率
経費回収率は類似団体平均値を下回っています。農業集落排水事業区域は人口減少傾向にあるため、有収水量も減少しています。使用料で汚水処理費を賄うため、施設の維持管理経費の削減など安定した経営への取り組みが必要です。

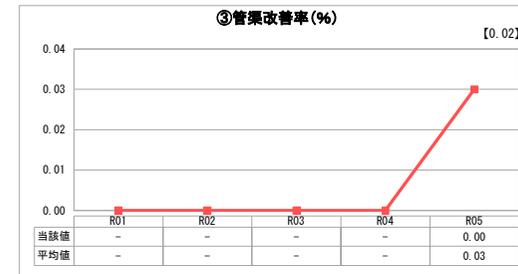
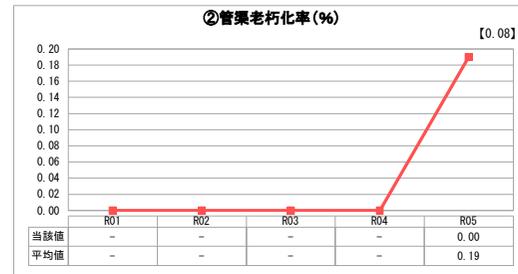
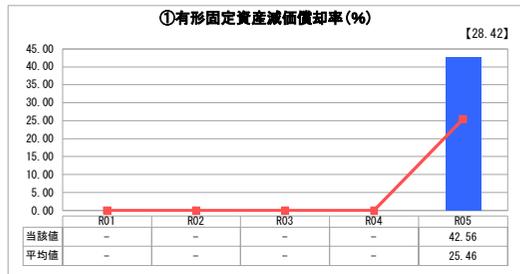
④ 汚水処理原価
類似団体平均値とほぼ同様の値ですが、効率的な汚水処理が必要となります。

⑤ 水洗化率
水洗化率は類似団体と比較高い数値となっています。今後も水洗化率の向上のため啓発活動を行っていきます。

2. 老朽化の状況について

③ 管渠改善率
平成10年から供用を開始し、管渠の耐用年数は過ぎていないため、管渠の更新は行っていません。そのため管渠改善率0%となっていますが、将来は管渠が必要となるため、限られた財源の中で、計画的に更新を行っていく必要があります。

2. 老朽化の状況



全体総括

農業集落排水事業は整備区域の人口減少に伴い使用料の減少が見込まれます。しかし処理施設の維持管理費、修繕費など経費は増加傾向にあり、一般会計繰入金に依存した経営となっています。効率化による維持管理経費の抑制、使用料の改定を行いながら今後の管路更新なども見据え、現金を確保し、安定した経営を目指す必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。